

仮設トイレ



って実際どうなの？

農家の皆さん、トイレ問題を抱えていませんか？

農家の皆さんとお話しする機会があった際に、「畑の近くにトイレがなくて不便」や「従業員やアルバイトで女性を雇った場合に特に困る」など……皆さん、トイレ事情でお困りとの話をお聞きました。

仮設トイレにも様々な種類がありますが、実際に圃場にトイレを設置する際に一般的なのは、工事が不要な「簡易水洗トイレ」です。

実際に作業場の近くに設置している農家さんもいらっしゃいますが、和式・洋式、手洗いが付いているか、臭いの逆流防止機能、広さが2棟分など様々なタイプのものが販売されています。

価格についても、仕様によって20～100万円と幅広くなっております。

西区農政商工課の事業について

西区農政商工課では、仮設トイレモデル設置事業として、女性農業者の働きやすい環境整備を目的に、農業施設等の敷地内に「快適トイレ」を設置し、実際に利用してもらうことで、効果や課題を検証する事業を行っています。そして利用者の実績報告書をもとに、今後の普及対策や本格導入に向けた検討を行います。

以前実施した事業では下記の要件を満たす「快適トイレ」を使ってもらいました。

- (1) 洋式（洋風）便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚
- (7) 鏡と手洗器
- (8) 便房内寸法 900 × 900mm 以上（面積ではない）

令和6年度に仮設トイレをモデル設置した感想

<良かった点>

- ・ 少量の水で流せる
- ・ 掃除がしやすい、汚れにくい
- ・ においが気にならない
- ・ これまで使っていたものと比べて、虫が内部に入りにくい
- ・ 広くて使いやすい、着替えもできる
- ・ 電気や鏡もあり便利だった
- ・ 和式トイレと違って座れるのが嬉しい

<悪かった点>

- ・ 虫の侵入があった
- ・ 何度か使っていくうちに夏場は匂いが充満してつらい時があった
- ・ 導入の費用が高く難しい

設置についてに許可って必要？

仮設トイレは基礎工事の必要がなく移動可能なもののため、農地以外の利用が制限される「農業振興地域内農用地区域内農地（いわゆる青地）」であっても設置が可能です。また、農地の転用許可や農業委員会への届け出も不要となっています。

汲み取りってどうしたらいいの？

仮設トイレモデル設置事業の利用者によると、利用期間4カ月のうち汲み取りは1回のみで、かかった金額は大体300～500円という回答でした。新潟市内に仮設トイレを設置する場合は、「一般廃棄物（し尿）処理届出書」を各区の区民生活課生活環境係、各出張所・連絡所等へ提出し、汲み取り日の一週間前までに汲み取り業者へ依頼をする必要があります。

補助金について

農業者による仮設トイレの設置については、にいがたagribase事業補助金（働く環境見える化支援・働く職場環境整備支援事業）が利用可能です。詳細は「新潟市 アグリベース事業」と検索し、新潟市役所のホームページをご確認ください。